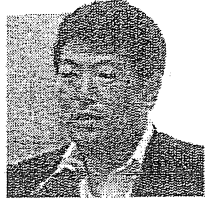


深松努  
代表取締役社長



## 復興作業は無事故無災害で

### 平成23年度安全大会 + 深松組

世界一震災に強い都市づくり

株式会社深松組（深松努代表取締役社長）の平成23年度安全大会が11日、仙台市青葉区のパレスへいあんで開かれた（写真）。

当日は同社と協力会社が合わせて116人が参加した。冒頭あいさつに立つ

た深松代表は「今後われわれは復興作業で世界一震災に強い都市を作り上げる。この仕事は家族の命を守り、子どもたちに誇れる仕事になる。皆さんとともに良いまちを作っていく」と

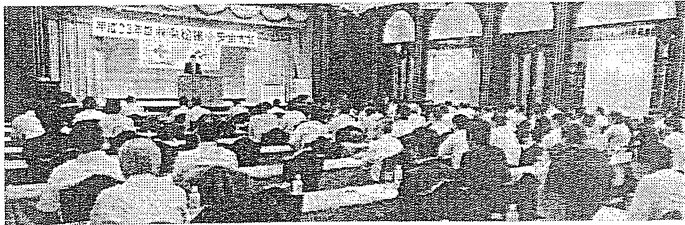
厳しい目で現場を見てほしい。復興までには仙台で5年、宮城で10年ほどかかるだろう。その間、無事故無災害でいけるよう気持ちを新たにしていってほしい」と安全の徹底を呼びかけた。

安全大会宣言では深松組土木部の相澤達哉氏の宣言の下、参加者一同が労働災害ゼロに向けて意識を新たにしました。

第2部では建設業労働災害防止協会の伊川廣司安全管理士が「東日本大震災復旧工事における労働災害防止に

ついて」と題し、講演を行った。

会場に集まった参加者は地域の復興と安全を誓った



## 安全大会

労働災害ゼロで  
復旧・復興を

深松組

深松組（仙台市・深松努社長）の11年度安全大会



会が11日、仙台市のパレスへいあんで開かれ、人命尊重を基本理念に、労働災害防止活動に取り組みむことを誓った。

参加した160人を前に、深松社長は「今回の震災では、一般の方々からも建設業の必要性を認識してもらった。労働災害ゼロで復旧・復興作業に取り組みむ」と訴えた。

安全衛生目標の説明に続き安全表彰が行われ、事故防止を決議して大会宣言した。引き続き、建設業労働災害防止協会の伊川廣司安全管理士が「東日本大震災復旧工事における労働災害防止について」をテーマに講演した。